

おしどりミニだより

社会福祉法人近江ちいろば会
デイケアの家おしどり

暦の上では立春を迎えました。しかしまだまだ寒い日が続く、インフルエンザも猛威を振るっております。お体には十分気を付けてお過ごしください。今月も宜しく願い申し上げます。

2018年2月吉日

法人理念 「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」

おしどりテーマ 「ひとり一人を大切に」

「優しい日本語」



阪神、淡路大震災から23年の年月が経ちました。

あの時、多くの外国人の方々が避難するときに言葉が解らず大変苦労されたらしく、現在はNPO法人が中心になり、いざというときには、伝わりやすい表現をしようという活動が広がりを見せているようです。例えば「非難しましょう」をもっとわかりやすく伝えるために「あっちに逃げよう」と手を引く等、相手に伝わりやすくすることを推進しておられます。これは介護の現場でも同じことが言えます。

認知症の進行で文字や言葉が伝わりにくくなっている方に、場所の認識や、伝えたい言葉を相手に理解していただくために、どういう表現をしていけば良いのか？と、私たちは日々直面致します。

例えば・・・「トイレ」と書いた張り紙の意味が伝わらずにトイレを探される方がいらっしゃいました。「排泄するところ」を認識していただけるためにはどうしたら良いのかみんなで考えました。そして「トイレ」の代わりに昔から馴染みのある言葉で「便所」と書いてみることで伝わりました。

又、短期の記憶が保てない方に、明日の迎えの時間を紙に書いて伝えてあります。「明日の朝8時45分におしどりが迎えに行きます」という表現で理解されていましたが、最近「迎えに行きますとはどういう事や」と言われるようになり、ご本人は不安で「自分はどうしたらいいのや」と怒りの声になりました。私たちもどういう言葉で表現したら伝わるのか考えました。するとある職員がこの方の生まれ故郷の言葉で書いてみようと思いつき、「明日おしどりが8時45分に連れに行きます」と書いてみました。するとわかって頂けました。「おお、連れに来てくれるのやな」と・・・安堵された様子でした。

日々の会話の中で、何気なく使われる方言や、その方特有の表現の仕方を覚えておくことで、相手にとって「優しい日本語」を伝える事が出来、安心を持っていただく事が出来ます。

これからも、おひとりお一人との会話を大切に、その方にとっての優しい日本語を使って行きたいと思っています。

1月の活動



皆さんと御上神社に初もうでに行きました。色々お願いしたいことはあるけれど、やっぱり「健康」をお願いしたと皆さん声をそろえて言われていました。



寒い日も、持っている能力を発揮し、昔を思い、家族を思いながら、編み物・台ふきん縫い・タオル体操と手先や体を動かして脳も体も表情もイキイキです。

1月の中旬から「おしどり」に來させていただくことになりました。

歌が好きで、ギターも少し弾きます。皆さんといっしょにいろんな歌を歌うのを楽しみにしています。よろしく願いいたします。



第7回健康教室

1月30日（火）おしどり健康教室を開催いたしました。昨年に引き続き今年もあらまきクリニック院長の荒牧陽先生にお越しいただき、生活習慣病の予防という内容で講演頂きました。

- 1、生活習慣病は加齢や体質で発症します。
- 2、生活習慣病は糖尿病や高血圧が土台となります。
- 3、高血圧、糖尿病、肥満等をコントロールすることは合併症の予防につながります。
- 4、高血圧は減塩、気温に注意しましょう。
- 5、糖尿病は炭水化物の量や採り方、運動（筋力維持）のバランスが大切です。

ご利用者、近隣の方々等多くのご参加有難うございました。たくさんの質問にも丁寧に先生から答えて頂き、終始和やかな雰囲気の中、皆さんも熱心にお話を聞いて下さっていました。

